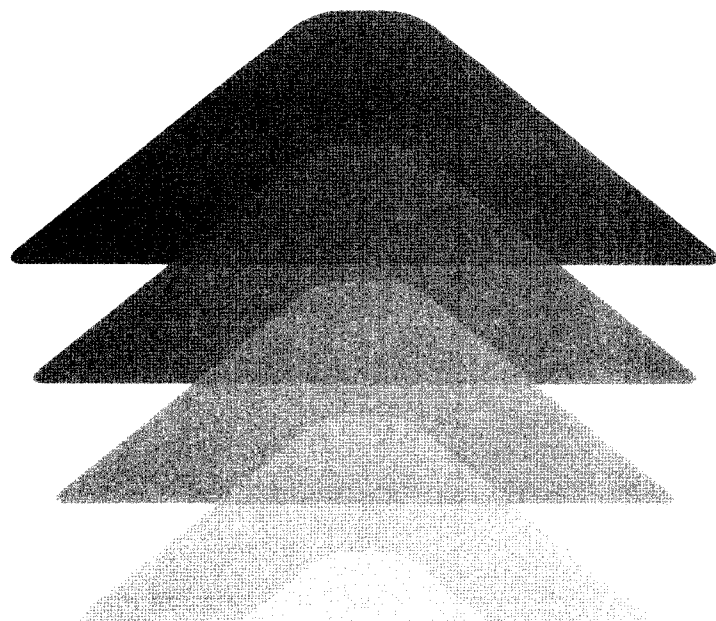


生活機能の低下予防から向上へ



平成16年7月
「運動器の10年」日本委員会

生活機能の低下予防から向上へ

目次

我が国における運動器疾患・障害の予防・治療研究推進の重要性	3 頁
I 生活機能低下予防に向けての基本的背景	9 頁
II 「運動器の 10 年」世界運動-世界の動向と日本の状況-	13 頁
III 生活機能低下の現状と今後のとりくみ	22 頁
1)生活機能低下予防から向上へ	22 頁
2)生活機能低下の誘因	24 頁
3)生活機能低下の早期発見	30 頁
4)生活機能低下の早期治療・運動器リハビリ	36 頁
5)大腿骨頸部骨折への対応	39 頁
IV 生活機能低下予防にむけて急がれる施策	41 頁
1)国民の啓発・周知推進	41 頁
2)効果的な早期発見	42 頁
3)運動器リハビリ医療の充実	43 頁
4)効果的な骨折予防	44 頁
5)充実した治療体制普及	45 頁
6)地域における「総合型スポーツクラブ」との連携	47 頁
7)運動器疾患等総合研究事業の開始	47 頁

V. 根本的な予防へと導く諸研究の抜本的推進	48頁
—運動器疾患等総合研究事業に向けて—	
1 骨に関する諸課題	49頁
2 中枢および末梢神経系に関する諸課題	60頁
3 スポーツ、健康増進に関する諸課題	65頁
4 骨折に関する諸課題	78頁
5 脊椎脊髄疾患・外傷に関する諸課題	90頁
6 骨粗鬆症に関する諸課題	96頁
7 変形性関節症に関する諸課題	102頁
8 関節リウマチに関する諸課題	111頁
9 リハビリテーションに関する諸課題	116頁